

すべての人に最高の余暇を



個人投資家様向け 会社説明会

2015年7月7日
フィールズ株式会社

1 フィールズとは

2 フィールズの取り組み

» 知的財産の育成・事業化

» パチンコ・パチスロ

3 業績推移および株主還元

1. フィールズとは

会社概要

(2015年3月31日現在)

設立	1988年6月
本社	東京都渋谷区南平台町16-17 渋谷ガーデンタワー
資本金	79億円
上場市場	東京証券取引所 市場第一部 (証券コード: 2767)
事業内容	(1) コンテンツの企画開発及び関連ビジネス (2) パチンコ・パチスロ機の企画開発及び販売
グループ会社	(株)円谷プロダクション、(株)デジタル・フロンティアなど計24社
従業員数	1,716名 (連結)
株主数	8,641名

企業理念

企業理念

すべての人に最高の余暇を

フィールズは多様なエンタテインメント領域において
世の中の人々の心を豊かにする商品やサービスを
創出し、提供し続けています

ビジネスモデル

知的財産を中核とした「成長するビジネスモデル」



知的財産の育成サイクル



2. フィールズの取り組み

» 知的財産の育成・事業化

知的財産（IP）の展開状況

IP総数150本

今後は選択と集中で、質の高いIPに注力

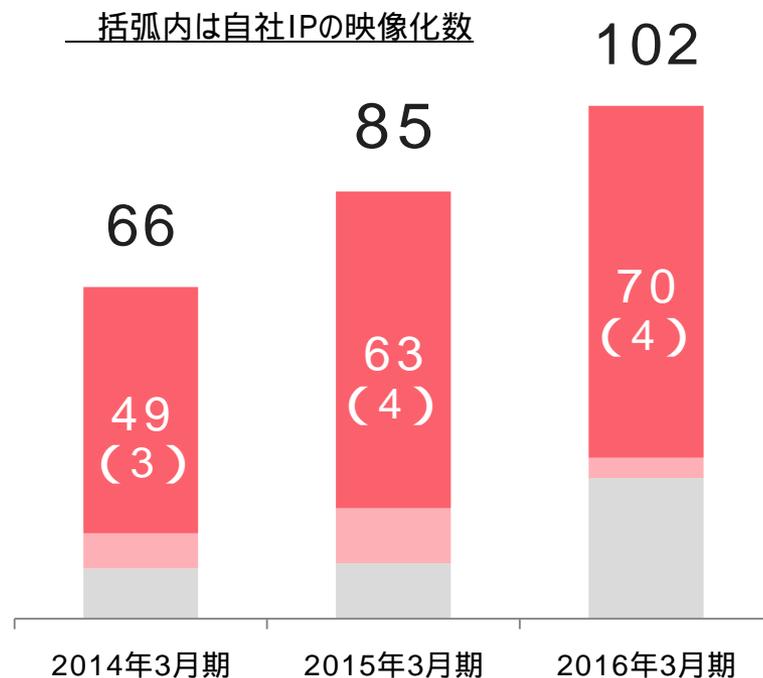
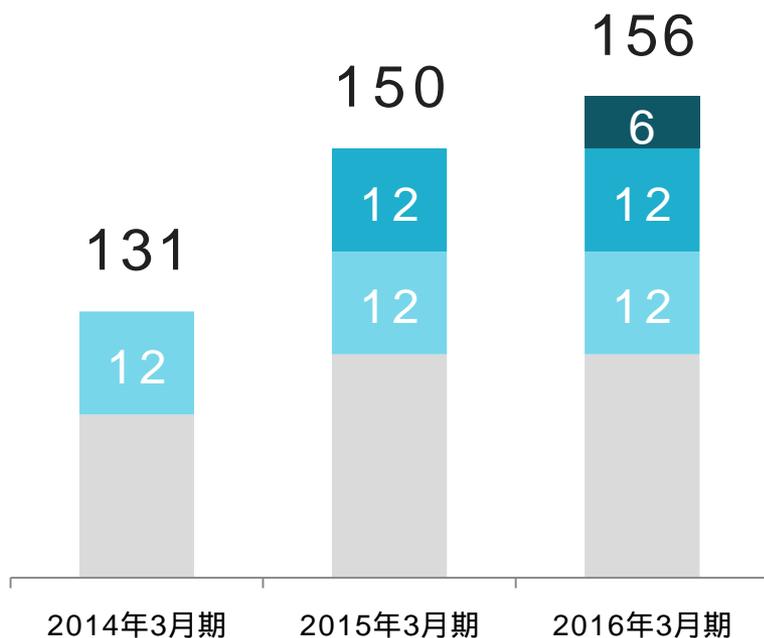
IP総数

IP展開メディア数

(2015年3月末)

■ 既存IP ■ 創出IP

■ 他社IP ■ 協業IP ■ 自社IP



自社IPの創出は主にヒーローズの新連載作品数 / MD（マーチャンダイジング）化は主にソーシャルゲーム・PS・単行本化等の総称。

知的財産の創出例

大手出版社と共同でコミック誌「月刊ヒーローズ」創刊

出版

2011年11月
小学館クリエイティブと
共同でコミック誌を創刊

流通

セブンイレブンと
共同で新たな出版流通開拓

多メディア 展開

多メディア展開に向けて
各種プロジェクト進行中



自社知的財産の展開例：ヒーローズ

月刊ヒーローズを中心にIP創出、クロスメディア展開進行

2011年11月～2015年3月

49作品 創出



新規IP創出 毎年 6本

映像化 7本 進行中



ゲーム化 6本 決定

パチンコ・パチスロ化 3本 決定

自社知的財産の展開例：ソウルリヴァイヴァ



【原作・構成・キャラクターデザイン】藤沢とおる
【作画】秋重学



©ヒーローズ ©Tohru Fujisawa Manabu Akishige

実写映画化

プロジェクト概要

フィールズ、ANEW社、Bedford Falls社の3社共同で実写映画化に向けた共同脚本開発に着手。

日本コンテンツのハリウッド展開を推進するANEW社が日米双方の視点から共同脚本企画開発を支援

自社知的財産の展開例：ウルトラマンシリーズ

幅広い層のファン獲得に向け、多メディア展開推進

キッズ、ファミリー向け

大人向け

2010年4月 円谷プロダクション子会社化

テレビ / 映画

グッズ / イベント

PS

コミックス

ゲーム

ライブエンターテインメント

飲食

ライフスタイル

2010



2014



2015年3月劇場公開

2015年3月公演

累計170万部超

2016

映像化
企画中

グッズ化/イベント
企画中

PS
企画中

グローバル展開
企画中

映像化・MD化
企画中

映像化・MD化
企画中

ライセンス
拡大中

©円谷プロ ©ヒーローズ ©2011'ウルトラマンサーガ,製作委員会 ©2015'劇場版 ウルトラマンギンガS,製作委員会 ©円谷プロ / ©e-Dragon Power Developed by Applica
©円谷プロ・フィールズ ©A MAN of ULTRA

自社知的財産の展開例：ウルトラマンシリーズ

日本でも珍しいコンセプチュアル・ライセンス 新ライセンスブランド『A MAN of ULTRA』始動

『A MAN of ULTRA』概要

コンセプト・世界観

日常の世界に
ウルトラな男を創り出す

キャラクターをリアルに表現しないという
制約のもと、『A MAN of ULTRA』の
コンセプトや世界観を自由にデザインする



ライセンサー企業 20社

2015年6月30日現在

A MAN of ULTRA



協業知的財産の展開例：ニンジャスレイヤー

知的財産を活用した多様な商品を投入予定

『ニンジャスレイヤー フロムアニメイシヨン』概要

原作ノベライズ累計60万部、コミカライズ累計50万部突破のTwitter連載のサイバーパンクニンジャ活劇小説。パートナー企業と共同で映像化を企画、プロデュース。

2015年4月よりニコニコ動画等でWEB配信し、第一話は160万再生を記録。



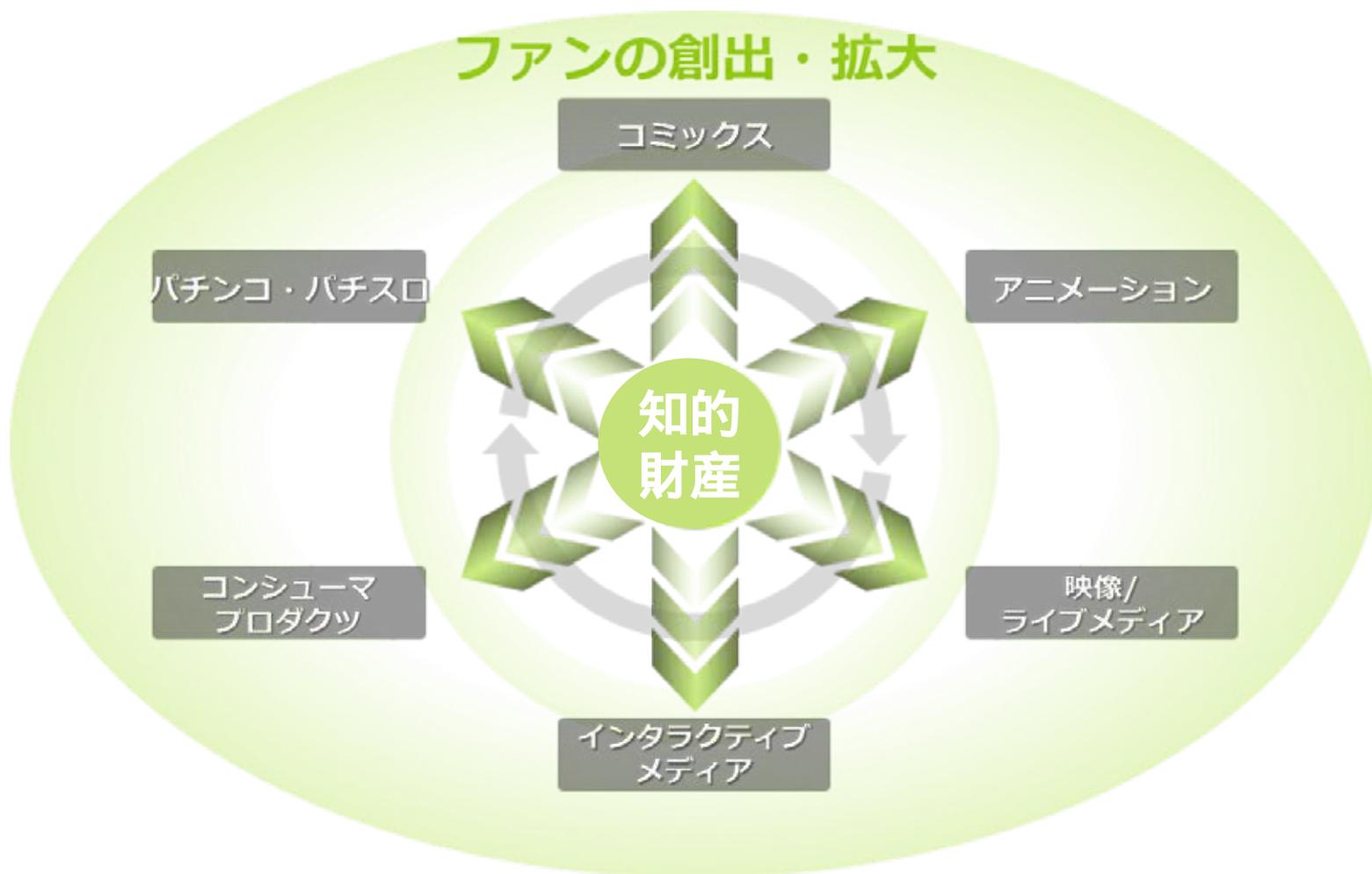
国内・海外の商品化権を保有

ソーシャルゲーム、デジタル・雑貨・海外番販、
アパレル・雑貨、フィギュア、コンビニくじ、プライズ、カプセルトイなど

ライセンサー企業 25社から展開予定

ビジネスモデルの原理

知的財産（IP）のクロスメディア展開 = IPの共通化

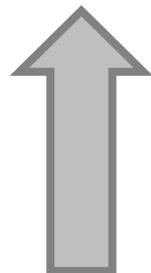


2. フィールズの取り組み

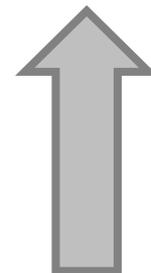
» パチンコ・パチスロ

フィールズの強み

遊技機業界最大手の **独立系流通商社**



ファンのニーズを実現できる
知的財産と商品力



全国に販売できる
営業ネットワーク

フィールズのマーケット・ポジション

遊技機流通に進出し、知的財産を活用した商品を展開



フィールズの提携メーカー

当初 2001年3月期

n1メーカー



現在 2016年3月期

n9メーカー

2001年3月期

サミーグループ
ロデオ

2016年3月期

サミーグループ
ロデオ

SANKYOグループ
ビスティ

京楽産業グループ
オッキー

カプコングループ
エンターライズ

ユニバーサルエンターテインメントグループ
ミズホ

大一商会グループ
ディ・ライト

七匠

アリストクラートテクノロジーズ

スパイキー

パチンコ・パチスロ分野の
提携メーカーを拡充

2015年6月
に子会社化

営業基盤の強化

営業体制、流通商社としての基盤を強化

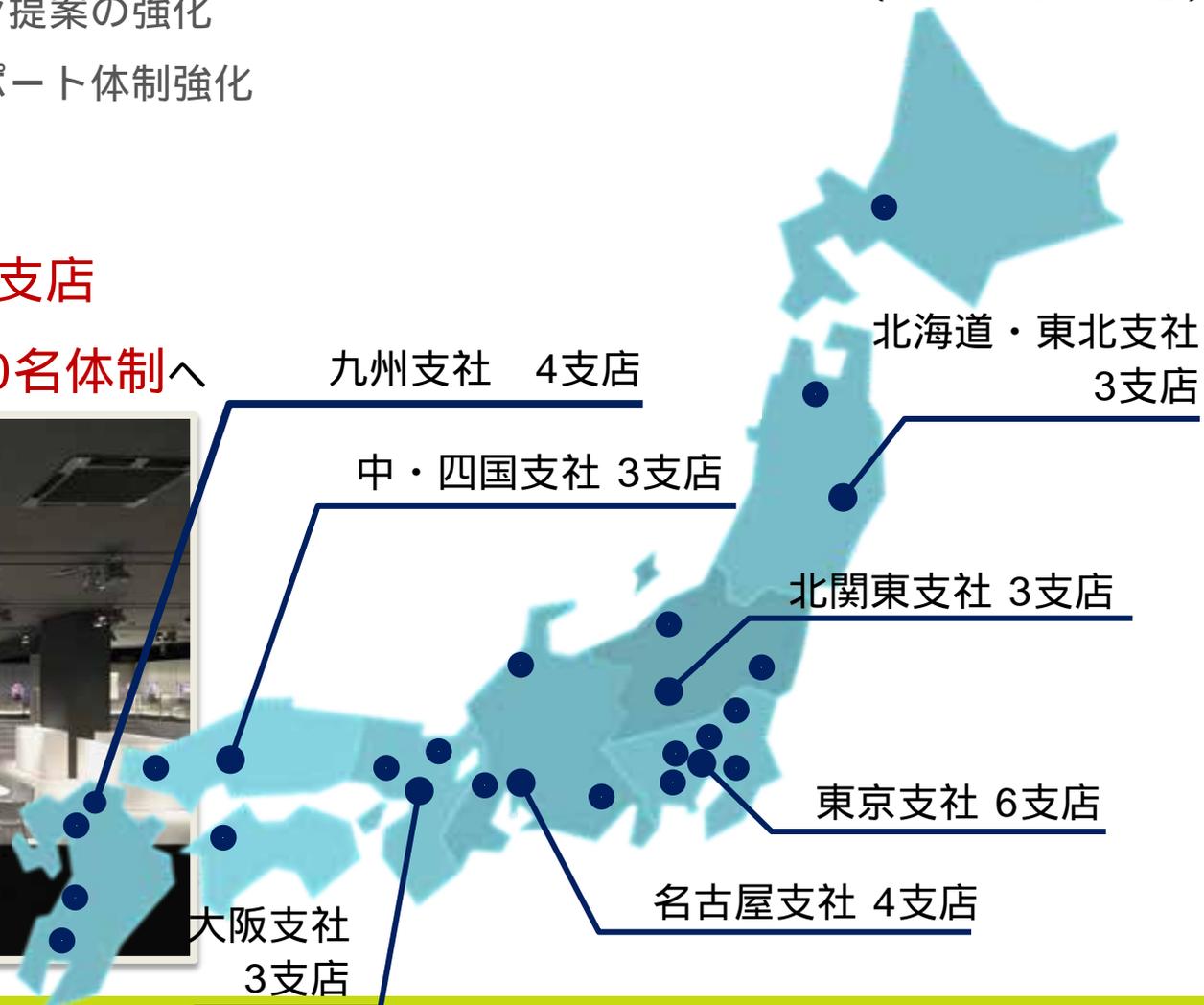
- ・ ホール向けソリューション提案の強化
- ・ 提携メーカーへの販売サポート体制強化

(2015年3月31日現在)



営業拠点 **26支店**から **37支店**

営業社員 **300名**から **400名体制**へ



パチンコ・パチスロ市場の動向

パチンコ販売市場は減少、パチスロ販売市場は微増

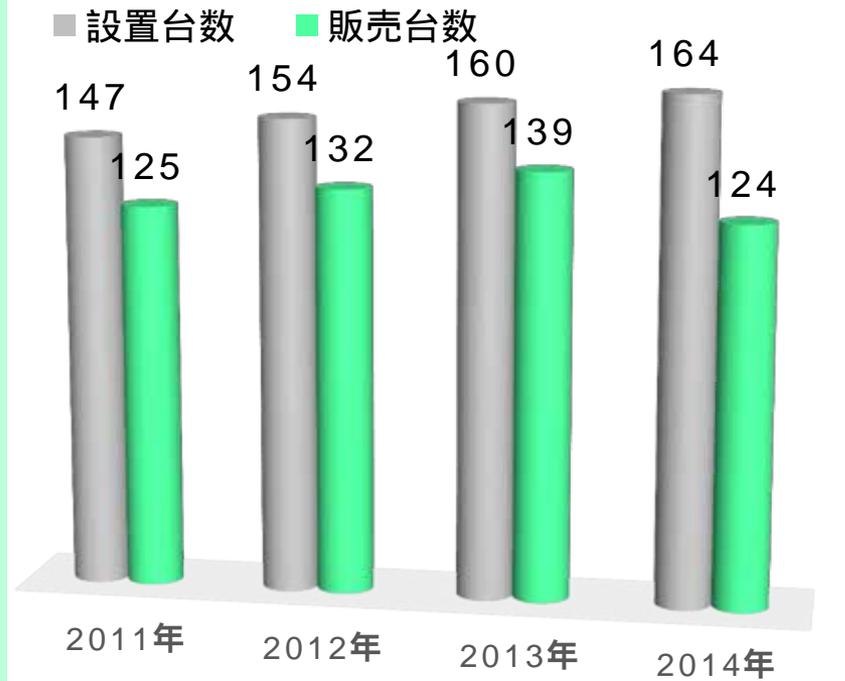
パチンコ市場（万台）



当社販売台数（万台）

2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期
23	10	16	30

パチスロ市場（万台）



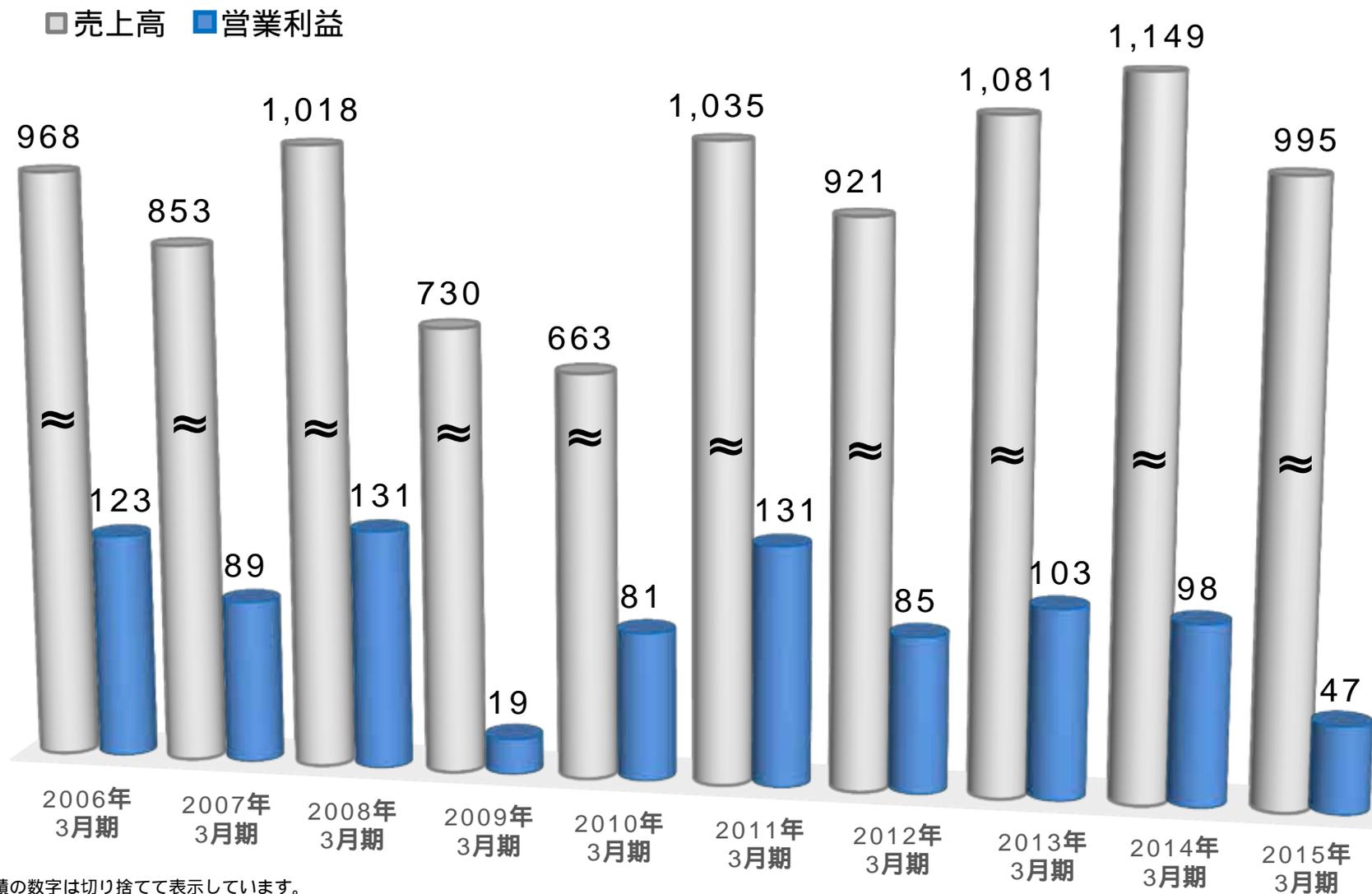
当社販売台数（万台）

2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期
17	22	23	9

3.業績推移および株主還元

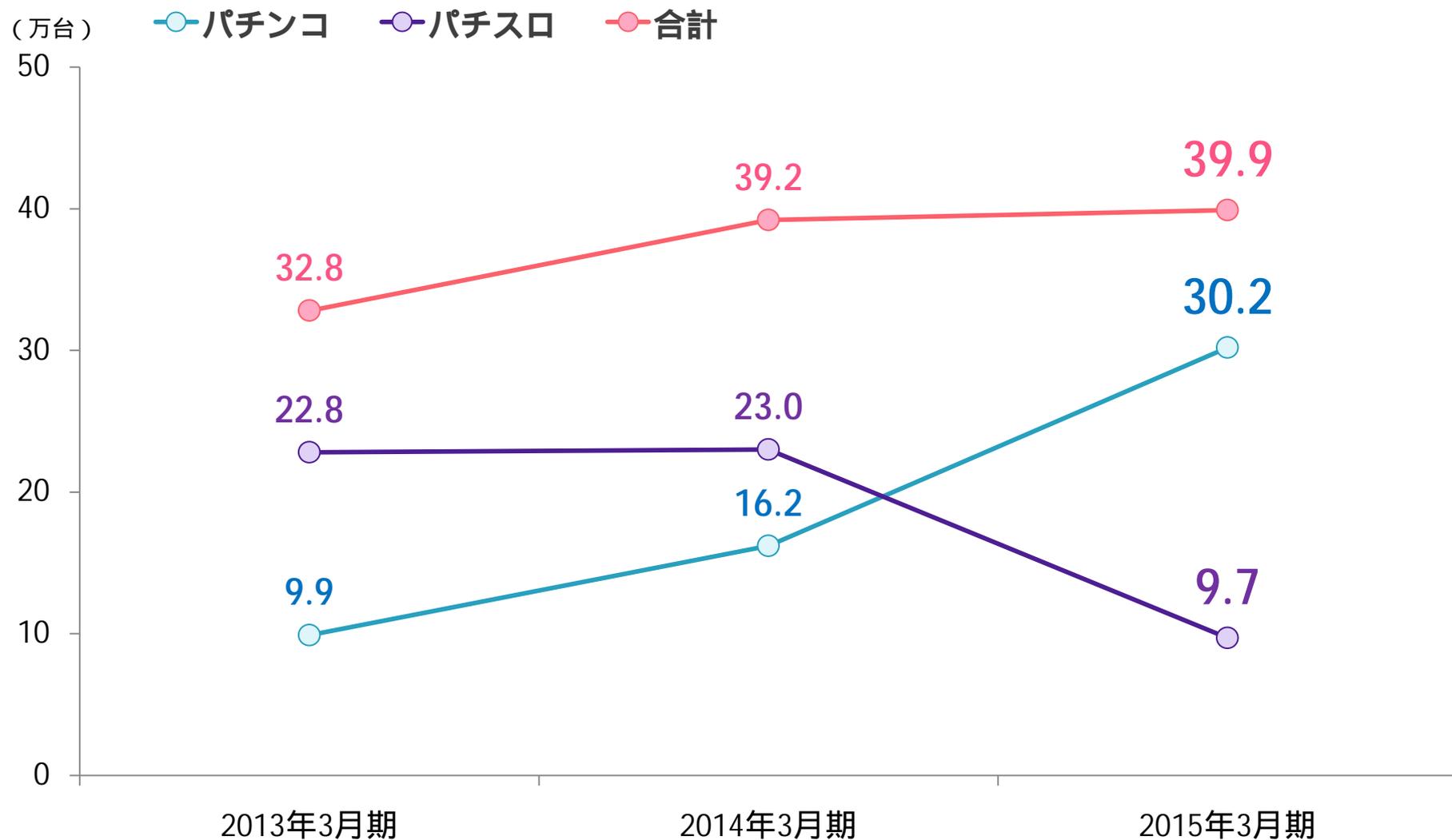
業績推移

(単位:億円)



業績の数字は切り捨てて表示しています。

当社 パチンコ・パチスロ販売実績



2016年3月期 連結業績見通し

(単位：億円)

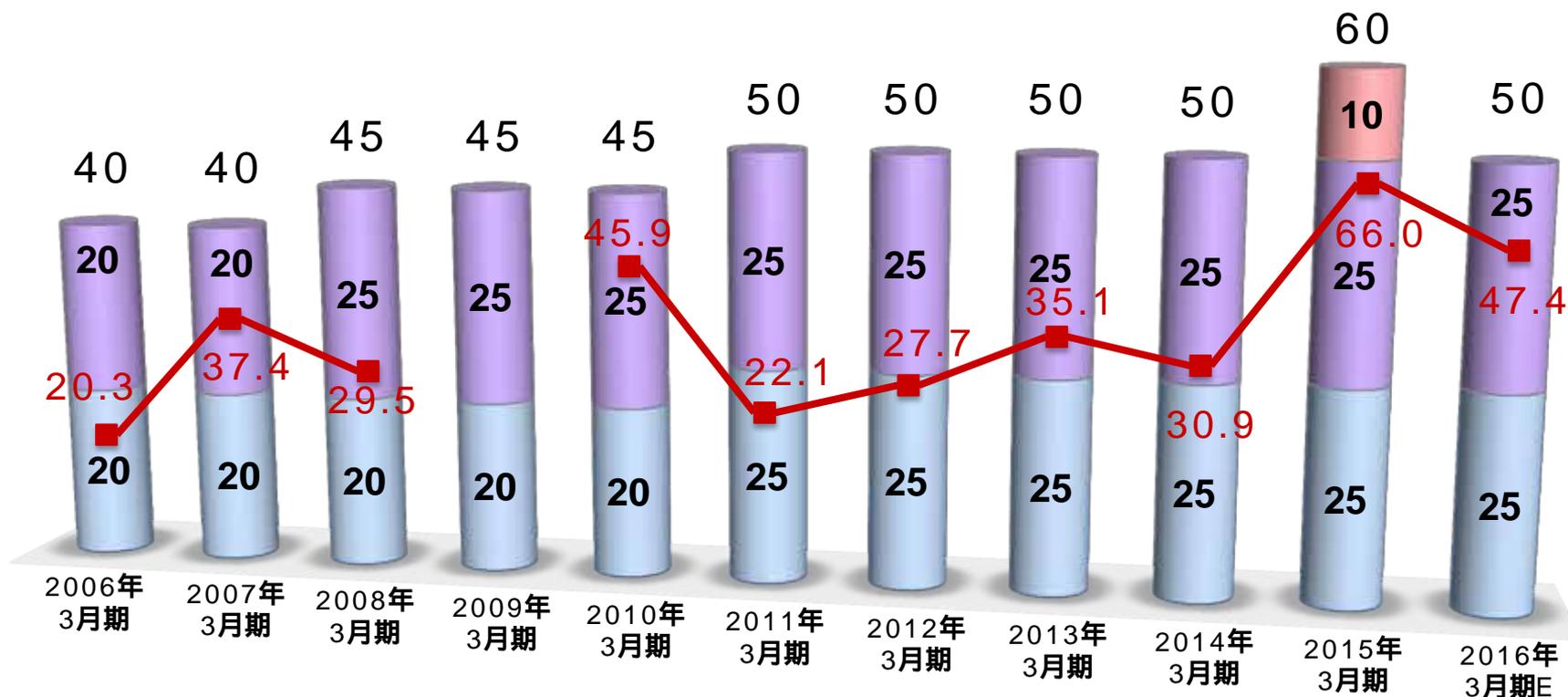
	2015年3月期	2016年3月期		
	実績	計画	前年同期比	前年増減額
売上高	995.5 (100.0%)	1,200.0 (100.0%)	+ 20.5%	+ 204.4
営業利益	47.4 (4.8%)	60.0 (5.0%)	+ 26.5%	+ 12.5
経常利益	54.9 (5.5%)	65.0 (5.4%)	+ 18.4%	+ 10.0
当期純利益	30.1 (3.0%)	35.0 (2.9%)	+ 15.9%	+ 4.8
1株当たり配当金	60円 上場記念配当10円	50円		
連結配当性向	66.0%	47.4%		

括弧内は対売上高比となります。

利益還元方針

連結配当性向基準：20%以上 / 安定性重視

- 1株当たり中間配当金（円）
- 1株当たり期末配当金（円）
- 上場記念配当金（円）
- 配当性向（%）



2012年9月30日を基準日として、普通株式1株を100株に分割しており、過去に遡って当該株式の分割を考慮した額を記載しています。

さいごに

企業理念

すべての人に最高の余暇を

エンタテインメント産業の発展は、
新しさ = 顧客創造によって成し遂げられてきました

フィールズもまたパチンコ・パチスロをはじめ、
多様なエンタテインメント分野において、
知的財産を主軸に、新しさに挑戦していきます

ご参考資料

1) 貸借対照表

(単位：億円、2015年3月31日現在)

資産の部

流動資産	710
（現金及び預金）	158
（その他）	552
固定資産	393
（有形固定資産）	121
（無形固定資産）	44
（投資その他の資産）	226
資産合計	1,103

負債の部

流動負債	457
固定負債	42
負債合計	500

純資産の部

株主資本	601
その他の包括利益累計額 少数株主持分	1
純資産合計	602

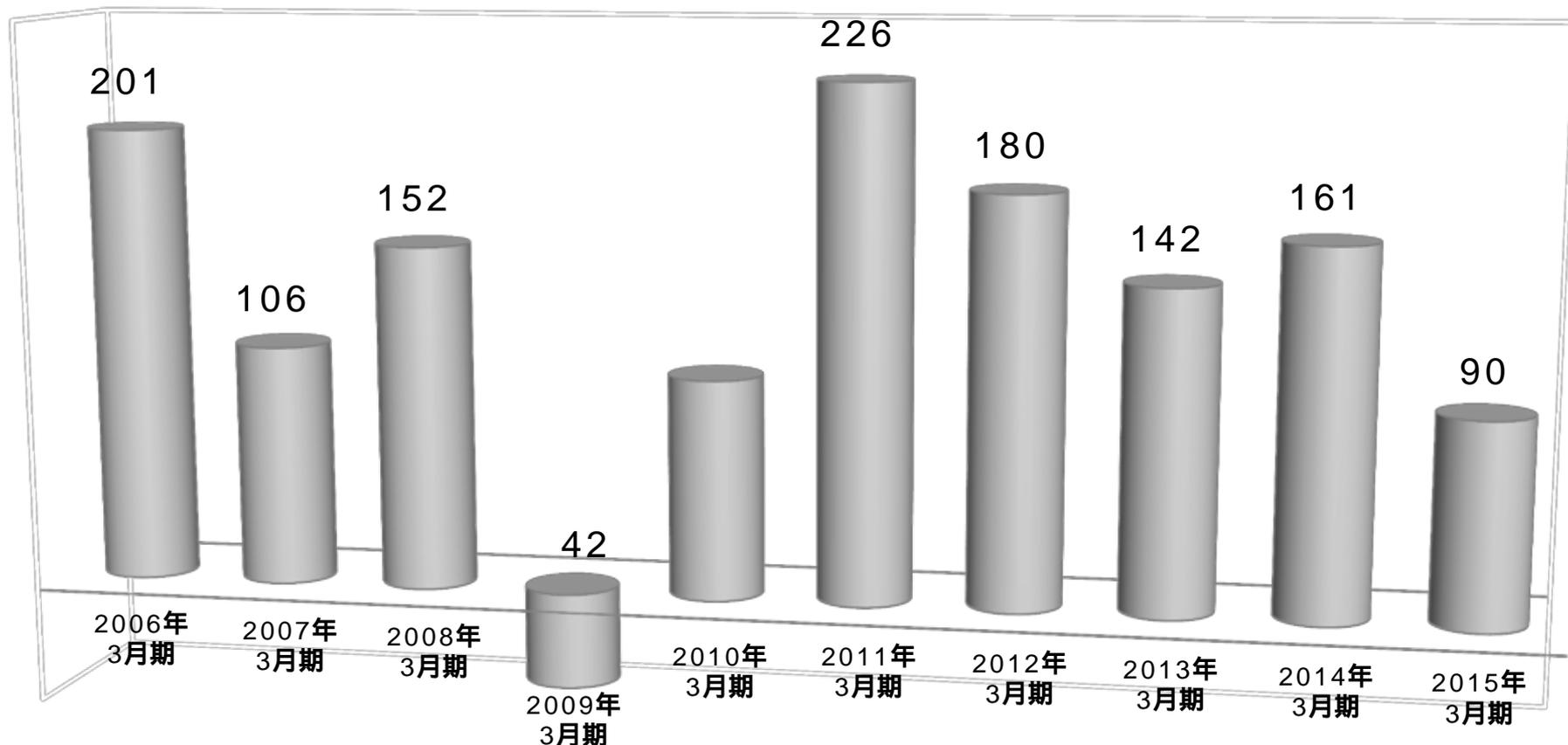
負債純資産合計	1,103
---------	-------

業績の数字は切り捨てて表示しています。

2) EPS (一株当たり当期純利益) の推移

EPS (一株当たり当期純利益) = 当期純利益 ÷ (発行済株式数 - 自己株式数)
一株当たりの投資価値を測定する指標で、EPSが高いほど収益力が高いことを表します

■ 一株当たり当期純利益 (円)

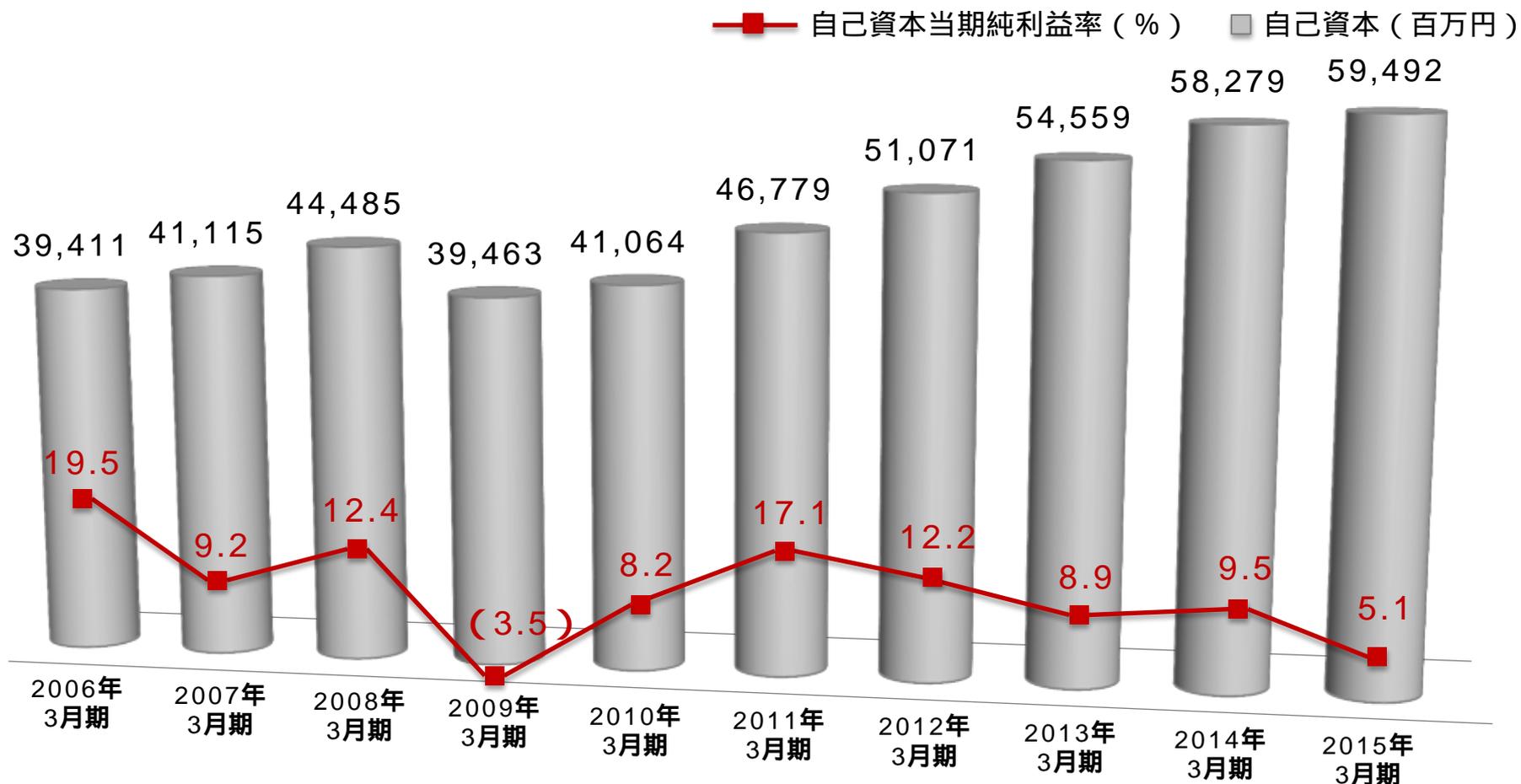


2012年9月30日を基準日として当社株式1株を100株に分割し、同年10月1日より100株を単元株式数とする単元株制度を採用しました。EPSは、当該株式分割を考慮した額を記載しています。

3) ROE (自己資本当期純利益率) の推移

$$\text{ROE (自己資本当期純利益率)} = \text{当期純利益} \div \text{自己資本} \times 100$$

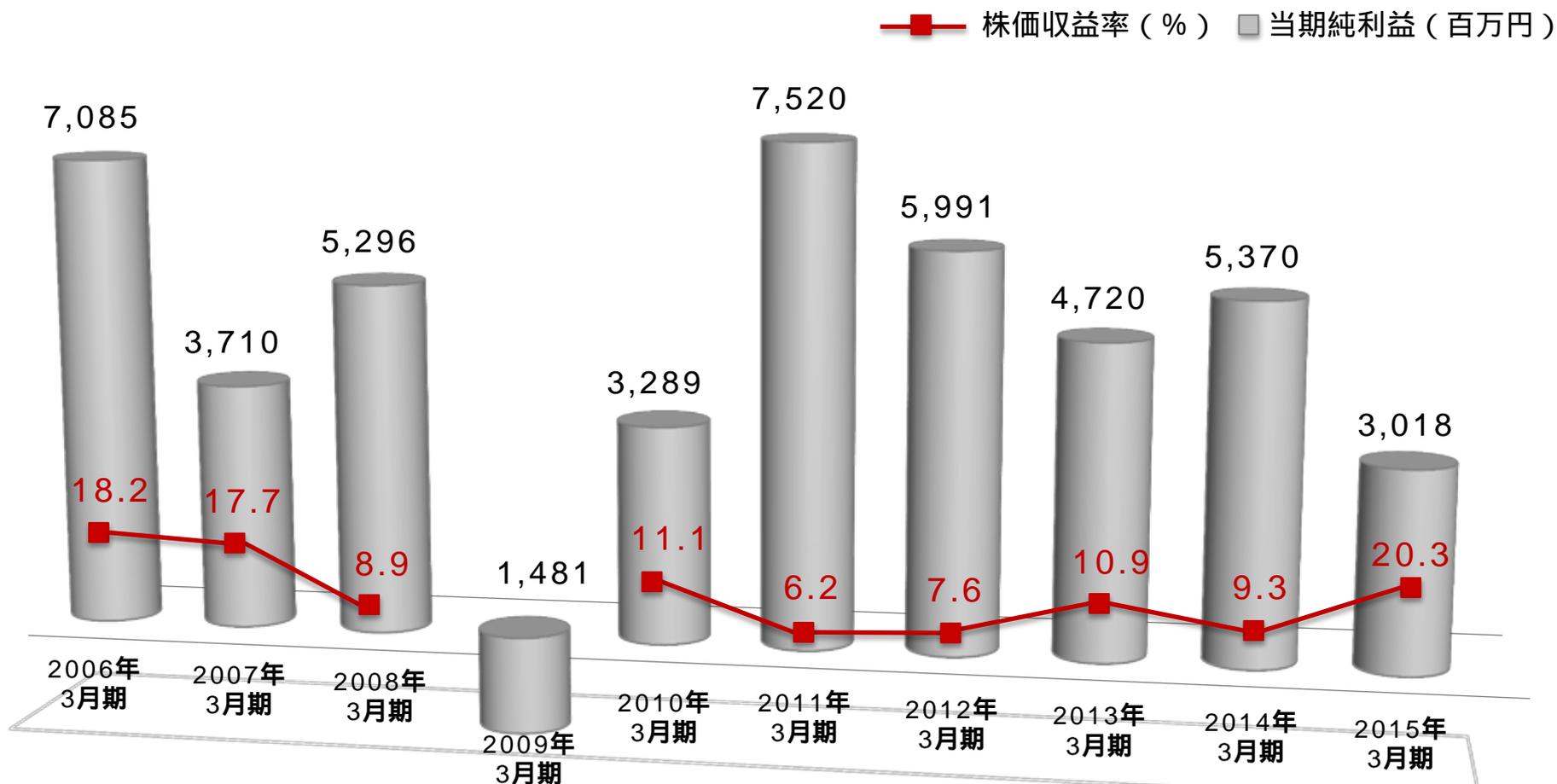
株主の投下資本 (自己資本) を、いかに効率よく活用して利益を上げているかを表します



2012年9月30日を基準日として当社株式1株を100株に分割し、同年10月1日より100株を単元株式数とする単元株制度を採用しました。EPSは、当該株式分割を考慮した額を記載しています。

4) PER (株価収益率) の推移

PER (株価収益率) = 株価 ÷ 一株当たり当期純利益 = 時価総額 ÷ 当期純利益
株価が一株当たり当期純利益の何倍まで買われているかを表します



2012年9月30日を基準日として当社株式1株を100株に分割し、同年10月1日より100株を単元株式数とする単元株制度を採用しました。EPSは、当該株式分割を考慮した額を記載しています。

5) CSR活動事例

フィールズCSRトピックス



節電の取り組み
総使用電力量の削減



チャリティゴルフ
トーナメント協賛



沖縄事務センター開設
による障がい者雇用促進



地域清掃活動へ参加
(神奈川県：鵜沼海岸
東京都：渋谷区)



AED導入を推進
(自動体外式除細動器)



営業部門へ
エコカー導入

グループCSRトピックス

子どもたちの、今と未来を支援する基金
「ウルトラマン基金」を設立

主な活動実績

2011年

被災地へ支援訪問

宮城県：石巻市、南三陸町、気仙沼市、東松島市、女川町
福島県：須賀川市、郡山市、いわき市、福島市
岩手県：宮古市、大槌町
千葉県：旭市

寄付金等の贈呈

宮城県へ3,000万円、 福島県へ2,000万円
岩手県庁へ2,000万円とマイクロバス



2012年

被災地へ支援訪問

宮城県：石巻市、女川町 / 福島県：郡山市、須賀川市

2013年

被災地へ支援訪問

宮城県：東松島市 / 福島県：富岡町

寄付金等の贈呈

岩手県・宮城県・福島県へ各2,500万円とマイクロバス

「ヒーローキャラバン～子供たちの心に光を～78 places in
東北」を2013年3月からスタート。

2014年3月末までに79か所の保育園や幼稚園への訪問を実施し、
7,200名以上の子どもたちと触れ合う。

2014年

アントニオ猪木氏とのコラボレーションによる

『東日本大震災復興チャリティーイベント元気祭り2014』を開
催。ウルトラマン基金は東北8会場でウルトラヒーローショーを
実施。

<ウルトラマン基金ホームページ： <http://www.ultraman-kikin.jp/>>

7) IR活動について

IRサイトにすべての開示資料を掲載していますのでご活用下さい

URL : <http://www.fields.biz/ir/j/>



[日興IR] 2014年度「最優秀サイト」に選定



総合ランキング
最優秀サイト



業種別ランキング
3年連続1位

[大和IR] 2014年度「優秀賞」に選定



< アニュアルレポート >

[Shaping the FUTURE]
(2014年10月28日発行)



< 株主通信 >

(年2回発行)



機関投資家様向け
決算説明会開催 (年4回)



個人投資家様向け
会社説明会開催



免責事項/お問い合わせ先

本資料に掲載されている弊社の計画、戦略、予想などは、すでに確定した事実を除き、潜在的リスクや不確定要素を含んでおり、その内容を保証するものではありません。

潜在的リスクや不確定要素には、弊社の主たる事業領域でありますパチンコ・パチスロ市場を中心とした経済環境、市場における競争状況、弊社の取扱商品等が考えられますが、これらに限るものではありません。



Gaming and Entertainment

コーポレートコミュニケーション室 IR・広報課
TEL : 03-5784-2109 E-mail : ir@fields.biz